

2023年度

第2回  
学校関係者評価委員会報告書

於：令和6年2月  
学校法人長野県理容美容学園  
長野理容美容専門学校

## 第2回学校関係者評価委員会 報告書

日 時：令和6年2月21日（水） 10：30～12：30

場 所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：（有）アルファ代表取締役 杉山 一真先生

（有）早川美容商事サロン企画マネージャー 早川 芳弘先生

松林校長・桐山事務局長・吉川事務主事・柏原教務主任

○松林校長より

令和5年度において、自己評価として改善する部分や、評価が下がった項目がある。しかし、職員不足しているからといって、教育内容を下げてはいけない。現状として、教職員全員で力を合わせて頑張っている。今後もより一層ステップアップしていくため、自己評価を反映していきたいので、忌憚ないご意見を出して頂きたい。

### 【議題】

#### 1. 令和5年度第2回自己評価委員会報告

令和5年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和5年度報告として、教育理念の3項目・学校運営の3項目・教育活動の7項目・学修成果の3項目・学生支援5項目・教育環境の2項目・学生募集と受け入れ3項目・法令等遵守の4項目・社会貢献の2項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告と併せて、評価4から下がった項目について

原因・理由・今後の対策について細かく説明を行い、対策方法等について意見交換を行った。

評価4を、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

特に評価が下がった項目について、急務となる課題を率先的に解決していくよう意見を出し合い前向きに対応していく。

各項目一つずつ細かく評価できていることが、次へと繋がっていくのでは。今後第三者評価という形式になった場合においても、大丈夫な体制が整っているのでは。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

（基準1）**総括** 人と社会との繋がりを大切にし、職業人として生き抜く力を身に付けさせる。

2年次選択科目を、時代のニーズに合った内容に見直し、一層即戦力に繋がるカリキュラムとした。

今後も、魅力的なカリキュラム内容になるよう努力を重ねていく。

**学校関係者評価委員コメント 早川委員より**

・カリキュラムを変更したのか？→選択授業希望者にばらつきがあり、内容を検討し、令和6年度より8種類から6種類に変更。

・とても素晴らしい教育理念であるため、引き続き頑張っていってほしい。

**学校関係者評価委員コメント 杉山委員より**

・今まで通り継続していってほしい。→時代に合わせてカリキュラム変更しているので良いのでは。

・撮影方法の学び方も、今後より一層必要となってくるので、工夫していってほしい。

**今後の改善方策**

・メイクエアブラシの使用方法を学ばせた方が良いと考え、令和6年度より選択のみでなく必修メイクにて学ばせるようになる。

(基準2) **総括** 運営内容を広く周知するためにも、ホームページや学校パンフレットの見直しを行い、見る人の視点に立った内容にしていく必要がある。

- 教職員の人材不足は深刻な状態。充分な教育を提供するためにも、学生の多様化に合わせ担任だけでなく各学科、各学年に副担任が必要。また、働き方改革により充実した面もあれば、指導面での圧迫も大きい。抜本的な見直しが必要である。
- WEB出願に合わせて、学生情報管理システムの構築も検討する必要がある。

**学校関係者評価委員コメント 杉山委員より**

- リクルートについては、経営していく部分で絶対的に必要なこと。変化する時代においていち早く人材確保が必要である。
- いろいろな生徒・人を育成するむずかしさは理解しているが、教師を育てていくことに力を尽くしてほしい。

**学校関係者評価委員コメント 早川委員より**

- 人材不足は大きな問題である。→WEBリクルートは必須である。

**今後の改善方策**

- リクルート学園として継続的に動いているが難しい状況である。6年度は特例として松本校より教員を派遣する予定である。引き続き人材募集をしていく。
- 通信制高校が全国的にみて多い県である。今後、通信教育600時間になるにあたり、希望者が増えていくことが予想される。→内容等検討していく必要がある。

**(基準3)**

- ニーズに合った人材育成の強化を図るため、選択科目の検討見直しを毎年行っている。
- カリキュラムは、産学連携により職業に直結した教育を導入している。あらゆる美容業界に対応できる内容となつており充実している。
- 教職員の人材不足により、教育活動にも影響が出ている。
- 資格取得に向け、放課後等活用し個人指導を行い取得率向上に努めている。

**学校関係者評価委員コメント 早川委員より** 問題ない。継続していってほしい。

**学校関係者評価委員コメント 杉山委員より** 問題ない。継続していってほしい。

**今後の改善方策** より良い学校にしていくため、教育活動に力を入れ、在校生満足度を上げていく。

(基準4) **総括**：入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続け、美容の技術者として活躍できる社会人の育成を目指す。

○コンテスト結果

理容美容学生技術大会 全国大会出場 ネイル部門 1名 まつエス部門 1名

日本エステティック協会主催エステティックコンテスト全国大会

応用手技部門 金賞（1位） 基本手技部門 銅賞（3位）

- 令和5年度休退学者（R.6.2.14現在）

休学者： 1年生美容科 3名 2年生美容科 2名 合計 5名

退学者： 1年生美容科 6名 1年生B.B科 2名 合計 8名 通信へ編入： 1年生美容科 1名

休・退学理由も複雑化しており、家庭環境や金銭面など対応が難しいケースもある。人間関係の構築が難しい学生も多く、保護者との密な連携が必要。

**学校関係者評価委員コメント 杉山委員より**

- ・サービス接遇検定とは?→美容業として接客のため必要な内容だと思うが、合格率のみでなくもっと、社会人として大事な部分を教えてほしい。合格率アップするのは、講師・授業の工夫が必要では。
- ・時代の流れに合わせて検定内容・指導方法を変える時期なのでは。詰込み型教育の時代ではない。教えるのではなく、学ばせるべきである。

**学校関係者評価委員コメント 早川委員より**

- ・サービス接遇検定は必要である。講師に問題があるのでは?社会人になるにあたり必要な内容と考える。もっと工夫すべきである。

**今後の改善方策**

- ・時代に沿った検定内容・授業内容にしていくために、より一層工夫していきたい。生徒たちのことを1番に考えていきたい。
- ・ビューティビジネス科の就職先も変化してきている。カリキュラムについても時代に合わせていくために検討中である。

(基準5) **総括** いつでも相談できるよう体制は整えてあるが、あまり活用がされていないのが現状。  
様々な相談がもっと気軽にできるよう工夫が必要である。

- ・経済的支援に関するることは、対象者に対し定期的に説明会を設けている。

令和5年度給付型修学支援対象者 1年生 17名 2年生 17名

- ・コロナ感染症は5類へ移行されたが、感染症対策についての健康管理は継続して行っている。
- ・各種コンテストやイベントへの参加は、授業では得られない経験や達成感が得られるため積極的に参加を促している。
- ・欠席状況に加え資格試験への取り組みなど、心配要素がある場合は早めに保護者と連絡を取り合い、ご家庭と学校とで連携して対応している。

**学校関係者評価委員コメント 早川委員より**

- ・カウンセリングについては、難しい部分もある。対面での相談が苦手なのでは?  
システムを有効活用できるように、公式相談lineアカウント等を活用していく方法もよいのでは?

**学校関係者評価委員コメント 杉山委員より**

- ・日頃関わっている先生が、相談に乗るのが一番適任なのでは?現実的ではない部分も理解している。  
難しい課題である。

**今後の改善方策**

- ・メンタルクリニックに日常的に通院している生徒もいる。プライバシーの問題もあり全部を把握し対応していく難しさもある。一家庭と学校との協力体制が今まで以上に必要な時代である。

**(基準6)**

- ・学生数に応じた設備に整えられている。能登半島沖地震による校舎への影響に対して、速やかに業者に校舎の点検作業を依頼し、安全性を確認し再開した。
- ・防災訓練では防火扉を作動させ、防火扉が作動したときの避難方法についても説明をし、落ち着いて安全に避難できるよう訓練している。能登半島沖地震の際は、連絡システムを活用し、教職員、学生の安否確認を行った。

**学校関係者評価委員コメント 早川委員より**

問題ない。継続していってほしい。

**学校関係者評価委員コメント 杉山委員より**

問題ない。継続していってほしい。

(基準 7) 総括 : 継続して学生募集に力を入れていく。

生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和 6 年度募集までに構築できている。  
令和 6 年度より実施する特待生・指定校生の入試制度変更内容について高校廻りを実施する準備を開始している。  
今まで以上に高校生獲得に向けて、県外流出を防ぐ手立てを強化していく必要がある。

- ・令和 5 年度の入学生の確保は、コロナ禍において高校生・保護者の県内進学への意識喚起につながり追い風となつた。しかしコロナ禍が収まり、令和 6 年度入学生確保は厳しい状況となつた。
- ・今まで以上に高校生獲得に向けて、県外流出を防ぐ手立てを強化していく必要がある。その方策として、マイナビ・リクナビ等の進学ネット内容を深めていく取り組みを始めている。また、本学園希望以外の美容系希望者に対して、DM チラシを発送した。(3月上旬)
- ・生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和 6 年度募集に向け、構築完了し、ネット出願応募フォーム作成開始している。(3月中) インターネット振り込み準備完了。
- ・令和 5 年度より実施する特待生・指定校生の入試制度変更内容について高校廻りを実施する準備を開始している。(6月 7月実施予定)
- ・9月 30 日実施 beauty collection 2023 に向け本格的準備を終え、先生方の協力により、無事開催する事が出来た。在校生にとっても貴重な経験となつた様子。
- ・2024 年度新パンフレット制作開始。3月末納品予定。
- ・令和 5 年度の入試から、個人情報の観点からも各科教職員による面接試験を個人面談にした。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・パンフレット以外にも、配布対象によって A4 サイズのチラシとかを配布してもよいのでは。
- ・実務実習時に、依頼文書と一緒にサロンに学校 PR チラシを同封するとアピールしてもらえる。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・ビューコレの良い反響があった様子で良かった。素晴らしいイベントであるため、今後も工夫して継続していくれば生徒のためにも、学生募集の観点でも良いのでは。

今後の改善方法

- ・選ばれる学校として、継続していくよう時代の流れに合った広報活動をしていく。

(基準 8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準 9) 全職員が重点目標に対し理解を高めて、自己評価し問題解決に向かっている。

- ・定期的に自己評価委員会及び関係者委員会を実施し、定期的に自己評価を行い、随時公開していく。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準 10) 学校近隣の中御所地区からの要望に応え施設見学会とメイク講座を行い地域の方々との交流を図った。

- ・イベントなどに参加し、SDGs の一環として学校近隣のゴミ拾いを行つた。  
継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

## 2. 重点目標について（別紙1参照）

### （1）令和5度重点目標実施報告

#### 令和5年度重点目標の実施状況の報告

##### 重点目標① 【 教育活動 】

###### ●生活習慣の基本 ●学び続ける教職員・教職員の技術力向上●社会貢献

- ・「学生は鏡」と捉え、学生ができていない場合は、教職員として自分はできているのかを振り返り、模範となるよう意識して行動していく。卒業後も見据え、主体性を持ち気配りや心配りができる人材の育成をしていく。

##### 重点目標② 【 教育環境の整備 】

###### ●相談できる職員間・生徒育成のための教員としての力をつける。●生徒も職員も学校が楽しいと思える雰囲気

- ・学生との信頼関係を築くことは重要だが、情報共有することでクラスを超えて声掛けや指導ができたことで、担任には言えないことも自然と相談できる環境作りができた。また、学生から得た情報を気さくに話し合える職員間の関係が良好なことも、良い意味で学生に影響があった。
- ・不安定な生徒が多い中いち早く変化に気づき、自分の気持ちを素直に話せる雰囲気のある個人面談を設けることが大切に感じる。担任以外の先生に声を掛けられることも、学生にとって自分を認識してもらえてるという実感を与え、前向きな学校生活に繋がる。
- ・学生数に対して教職員数が足りておらず、個々の教職員の負担が大きすぎる。改善を訴えてきたが改善されず、教職員の精神面、体力面を考えても限界にきている。早急に改善を図らなければ、学校崩壊してしまう危険性を感じる。

##### 重点目標③ 【 学生募集 】

###### ●リサーチを行い、新しいアイデアと実行力で日々改善●在校生、卒業生、業界と共に魅力を発信

- ・オープンキャンパス係長は、複数の候補者の中から選出するほど人気の係になっている。これも高校生の頃の体験や在校生の楽しいそうな様子を見てきた結果、引き継がれている良い流れだと感じる。オープンキャンパスでの学生の様子は、憧れの先輩として影響力が大きい。そういった学生を育成してきた、教職員の努力や指導力の賜物である。少子化及びコロナ5類移行に伴い県外流出の恐れがある中、昨年同様の入学生獲得は十分できていると思う。
  - ・在校生が卒業高校へ出向き、イベントPR活動をしてくれた。また、学生発信のSNSにも係を中心に投稿内容を検討し、学校の魅力が発信できるよう努力をしてきたことで、フォロワー数も増加した。
- 今後も、写真の撮り方や加工の仕方、美容学生らしさが表現できるよう、更に盛り上げていきたい。
- ・県外への就職ができるることは大事だが、地元サロンで活躍する卒業生も沢山いるので、そういった卒業生の協力を得ながら、長野県内の美容業のPRを強化し、県内美容業の発展や学生募集に繋げられるとよい。

##### 学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・重点目標に対して、考え方・方策が変化していることが大事である。問題なく行われている。
  - ・学生を1番に考え、よく見て対応していくことが必要である。
  - ・ナガコレ毎年参加してくれ感謝している。自分自身10年間の節目をむかえ、ナガコレの目的として、サロンディラー・学校との協力体制のもと、美容師の魅力発信・業界の発展・地元アピールに繋がればという思いでやってきたが、時代の流れと共に難しさを感じている。
  - ・トップの在り方として、命令ではなく課題を与えていくこと。コミュニケーションが大切。言い合える組織にする。詰まらないようにすること。意見を風通し良く言い合える職場にするには、情熱が必要である。
- 一人1人が楽しみながらやりがいを持って働くことが大事である。

### 学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・重点目標である“生徒も職員も学校が楽しいと思える雰囲気”とても素晴らしい目標である。  
参考として、徳島県にある従業員250名 製造業の会社が、社員全員が月曜日に仕事に行くのがワクワクして働いている企業。やりがいとして、人間関係がいいから仕事も頑張れる。  
→朝礼1時間コミュニケーションをとる時間をきちんととっている。グループディスカッションをしながら課題・考えについて社員全員が共有できている。人間関係が構築できているからである。

### 今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。
- ・ナガコレは、学生にとっては良い機会である。長野校としては伝統的なイベントとなっている。
- ・今回提案していただいたアイディアをもとに、より良い人間関係を構築していくよう頑張っていきたい。

### (2) 令和6年度重点目標（別紙2参照）

- ① 教育活動 「生活習慣の基本」 元気な挨拶・素直な心・美しい環境  
「社会貢献」 美容の社会的意義
- ② 教育環境の整備 「安心して学べる環境」  
カリキュラムの魅力発信・成功体験の積み重ね・一人ひとりに寄り添う
- ③ 学生募集 「学生会などの学生の自主性を促す」「卒業生・業界との連携」

### 学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・重点目標をきちんとと考えられているので、目標達成に向けて頑張ってほしい。成長していくことを楽しみにしています。

### 学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・新しい時代・環境に合わせてアプローチ方法を変化させていく必要もあるのでは。
- ・成功体験の積み重ねも大事だが、失敗体験の積み重ねも必要では。失敗から学び取っていくことも大切である。自己肯定感の低い原因として、失敗しない教育をしてきたため、難しい部分もある。家庭との協力体制も必要である。

### 今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。

### 3. 次回予定

令和6年 第1回学校関係者評価委員会 令和6年7月24日（水）10：30～